

生徒： 知事は先ほど、産業振興計画の一つの方法として地産外商とおっしゃったんですが、他の県ではどんなことをして、産業振興を図っているんですか。

知事： 県によってそれぞれの持ち味を生かそうとしています。例えば地域を豊かにするためには企業誘致をすればいいというのが、一つの定番になっています。栃木県や三重県とか割と大都会周辺の地方の県には、これですごくいいところもあるんです。栃木で工業団地を造るとあっという間に埋まって、一大工業群ができたりします。高速道路を使ったら東京まで1時間ほどです。すぐ港で物を載せられて、地価や人件費も安いということがあります。しかし、残念ながら高知県で大規模工場を誘致しようと思っても、企業にしてみれば、高知に来るより、関東近辺に行ったほうが良いとなるでしょう。

だから、無い物ねだりをしてはいけないと思います。皆さんは「一次産業だと地味やなあ」と思うかもしれませんが、一次産業は、人間が生きていくためになくてはならない産業で、追い風が吹いている産業だし、いずれ日本の主力産業になります。新しい国の政策でも成長戦略を立てる時に必ず農業が入ってくるという時代に徐々に変わりつつあります。高知県の場合は、高知県が持っている強みをすくすくと伸ばしていくようなやり方がいいんじゃないのかなと思っています。

かと言って、企業誘致を諦めるわけではありません。高知県に適した企業誘致というものもあります。先ほど、物流コストがかかると言いましたが、例えば小さくて付加価値の高い精密機器を作る場合は、割と遠い県でも立地してくれることがあります。そういうものを狙って、企業誘致もしていますが、やっぱり一次産業、それに関連する産業、そして観光をメインエンジンとして取り組みを進めています。